



「子供の尊い命を守り、無限の可能性を伸ばす」陣屋小学校

# 陣屋小だより

学校教育目標  
かしこく  
やさしく  
たくましく

令和5年6月30日  
第4号

## 本をたくさん読んで かしこくなろう

校長 保戸田雅之

職員玄関の前で咲いているアジサイの花。白く縁どられた花卉がとてもきれいで、職員の間でちょっとした話題になっています。

梅雨らしい天気が続く中、晴れ間にのぞく青空に夏の到来を感じるようになりました。

夏休みまで残り3週間あまり、熱中症に注意を払いながら、一学期のまとめがしっかりできるように、子どもたちの活動を支えていきます。



さて、『5つの陣屋っ子の自信と誇り』の2つ目に「**本をたくさん読んでかしこくなります**」という項目があります。また、『5つの陣屋小保護者の自信と誇り』の2つ目にも「**本を読もう！親子で**」という項目があります。ご家庭で読書にかける時間はどのくらいあるでしょうか。

2年生は、国語で『スイミー』という物語教材を学習します。子供たちは自分を主人公の「スイミー」に置き換えて、いつの間にかお話の世界に入り込んでいきます。この「主人公になり替わる」ことが、他者を認識したり自己を認識したりするうえでとても大切なことだと言われています。また、豊かな想像力を育むことにもつながります。

主人公と同化することは、映画やアニメ、ゲームでも体験できますが、その人物の姿かたち、色、声などは、ある意味、制作側によって「与えられたもの」です。一方、文章で表現された本は、読み手が自由に想像することができます。本で読んだ物語が実写化されてがっかりしたことがあるという方も多いの

ではないでしょうか。読書をして自分なりのイメージを創り上げる経験が想像力を育ててくれるのです。

本校では、学校応援団の方に読み聞かせをしていただいたり、図書室が魅力的な場所になるように環境整備に力を入れたりして、陣屋っ子が本好きになるようにしています。

読書は、幼いころから習慣として身に付けることがより望ましいと言われています。そのためには、周囲に本があることや本を読んでいる人がいること、読書に接する機会があることなど読書に親しむ環境が重要だそうです。ご家庭でも、保護者やご家族の方が子供と同じ時間に同じ場所で読書をする機会をもつように工夫していただくと幸いです。

いよいよ夏休みが近づいてきました。陣屋小は、学区内に市立図書館があるという恵まれた環境です。長い休みの間に大いに活用するなどして読書に親しみ、頭と心に栄養を蓄えてほしいと思います。

## 全校徒歩遠足、

### ご協力ありがとうございました

6月7日(水)、とても暑い日でしたが新座市総合運動公園に行ってきました。

高学年は下級生を気遣い、低学年は5、6年生の指示をよく聞いて、頑張って歩きました。また、総合運動公園では、スタンプラリーやなかよしグループ遊びで元気いっぱいに過ごしました。

行き帰りの道では、たくさんの保護者の皆様が見守りをしてくださりました。陣屋小保護者のバックアップ体制が本当に頼もしく感じました。

当日までの体調管理やお弁当の用意など、ご協力ありがとうございました。

